

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870105735
法人名	株式会社 ツクイ
事業所名	ツクイ 松山南江戸 サンフラワー
所在地	愛媛県松山市南江戸2丁目1番29号
自己評価作成日	平成22年1月5日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 [※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載](#)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成 22 年 1 月 12 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

イベントを通して、ご入居者・ご家族のかかわり、笑顔の支援をすること。
地域の防災活動など、地域行事への積極的な参加。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

公民館長と親交を図り、利用者は地域の敬老会、文化祭、運動会等に参加して楽しんでいる。暖かい日はホームの庭で日光浴をしたり、歌を歌ったり、近くの公園等にドライブに出かけている。職員は、利用者に常に笑顔で接し、会話を通して思いや意向を聞き取っている。家族が来訪する機会を確保するため、継続的にイベントを開催している。年に1度は家族に「満足度調査」を行い、自由に意見を述べてもらい、ケアに反映させている。24時間体制で連携できる協力医療機関から、週に1回往診があり、また定期健康診断や血液検査も受けており、健康面で安心できる。終末期については利用開始時に家族等と話し合っ指針を共有し、職員研修を継続して行っている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

● 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

● 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

● 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

● 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

● チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 ツクイ 松山南江戸サンフラワー

(ユニット名) みかん

記入者(管理者)

氏名 村上 岳史

評価完了日 平成22年 1月 5日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) 管理者・職員は理念の共有を行っている。</p> <p>(外部評価) 開設時に全職員で話し合い、ユニット毎に「笑顔で声かけ」、「明るく楽しく」を作成し、各ユニットに掲げて共有し、実践につなげている。さらに現状に合わせた理念について話し合っていきたいとの意向を持っている。</p>	地域密着型サービスの意義や役割を明示した理念を作成し、全職員が共有しながら、さらにケアの実践に活かして行くことが大切であり、また理念を地域への啓発にも役立てていくことを期待したい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p>(自己評価) 運営推進会議をはじめとし、ホーム主催のイベントや、地域防災への参加を行っている。</p> <p>(外部評価) 自治会に加入している。また、公民館長と親交を図り、敬老会や文化祭等に参加している。中学生の職場体験を受け入れたり、高校生が花を届けてくれている。職員は地域のクリーン活動日を設け、お揃いのジャンパーを着用して、毎週近隣の清掃活動を行っている。地域住民に認知症予防に関する講話も行っている。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) 地域包括の依頼により、地域の方への認知症講座を行う。地域の中学生の職場体験を受け入れ。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価) 推進会議に地域の町内会長や公民館長が参加下さる。 そこで、活発な地域活動にも参加させていただいてい る。ホームへの意見等も活発にいただけ、事業所の改 善にいかされている。	
			(外部評価) 会議の意義を十分理解した会議メンバーの参加を得ら れており、約2か月に1回程度開催している。利用者 の生活の様子やホームの状況を報告しているが、利用 者家族の出席がなく、また出席者からの発言もやや少 ない傾向にある。	会議には利用者家族の出席もお願いし、家族の意見等 をサービスに反映させる取り組みが望まれる。また、 出席者からの忌憚ない意見を聞き取れるよう、さらなる 運営の工夫にも期待したい。議事録には発言者の立 場を明記するなど、より判読しやすい記録の方法につ いて検討を望みたい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(自己評価) 生活保護受給者等おられ、担当者と綿密に連絡を取っ ている。現在は、成年後見人制度の利用の為地域包括 支援センターの担当者とも連携を取っている。	
			(外部評価) 生活保護を受給している利用者があるため、市の生活 保護担当者と連絡を常に取り合い、月1回は収支報告 書等を届けるために市窓口に出向いて情報交換してい る。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正しく 理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束のないケアに努めている。現在、玄関にロッ クがかかっている状態であるが拘束の観点より防犯を 意識しての施錠と認識している。	
			(外部評価) 身体拘束禁止に関する法令について、月1回の会議で 学習している。職員は、人権を大切にしながら自由で のびやかな暮らしが送れるよう努めている。防犯のため 1階入口はやむを得ず電気ロックで対応し、利用者 の安全確保に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 定期的な研修の中で、高齢者虐待について周知している。虐待がないケアに努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 現在、実際に申請中の方がおり、活用の為支援している。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 現在、新規の方はおられないが契約時は内容の理解と納得に注力し十分な説明を行っている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 顧客満足度調査を実施し、推進会議で発表行う。現在は、そちらをもとに改善を行っている。 (外部評価) ホーム内及び外部の相談窓口を重要事項説明書に明記し、利用開始時に本人及び家族に説明している。家族が訪問した際には要望を聞き取っている。年1回は家族に「満足度調査」を行い、自由に意見を述べてもらっている。また家族会を設けており、会での意見も反映させている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価) 定期的な、全体カンファレンスや処遇改善への取り組みを行っておりできる限り管理者は職員の意見を取り入れる努力をしている。</p> <p>(外部評価) 管理者は月に1回程度は各職員と面談し、意見等聞き取っている。また全体会議において、チェックシートを活用して現在困っていること等の調査を行っている。職員の意見等については、管理者がインターネット経由で法人代表者に伝え、コメントを得ている。</p>	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価) 給与の水準や、労働時間に関しては適正に管理している。各自が向上心を持って働けるよう職場環境はもちろん管理者と直に話す機会を設けている。</p>	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価) できる限り、研修等へ参加し学ぶ機会を作っている。定期的な全体カンファレンス等で学んだ内容を発表している。</p>	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価) 同一法人の事業が、市内に等ホームをふくめ5箇所あり定期的に会議を行いその中で他サービスを学ぶ機会を設けている。今後は、同業他社でもそのような機会ができるよう取り組みたい。</p>	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価) できている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) できている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 努めている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 関係作りに努めている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 様々な、ご家族関係の中、可能な限り関係作りに努めている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 可能な限り、関係継続の支援に努めている。 (外部評価) 家族に極力来訪してもらえるように、イベント開催を継続している。馴染みの美容室に家族と出かける利用者もいる。中学校のグラウンドや近くの公園が馴染みの場所となり、機会あるごとに出かけている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 入居者同士の関係の把握に努めている。お互いの相性等考慮し、共用スペースの座席など関わりが途絶えない支援に努めている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 現在、対象の方いない。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 可能な限り、本人の意向を尊重している。	
			(外部評価) 職員は、利用者に常に笑顔で接しながら声をかけ、意向や思いを聞き取っている。会話が困難な場合でも、ゆったりと接しながら表情や動作等から思いを把握するよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居の経緯に居宅のケアマネさんや病院のワーカーさんがおられる事多く、可能な限りこれまでの経過の把握に努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 努めている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 現状に即した介護計画の作成に努めている。	
			(外部評価) 利用者ごとの担当者がアセスメントを基に生活の様子を会議で発表して全職員で話し合い、計画作成担当者が作成している。基本的には3か月毎に見直しを行い、家族にも説明して承認を得ている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の記録を実践に反映できている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 柔軟な支援やサービス多機能化に取り組んでいる。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 地位包括支援センターをはじめ、地域防災のネットワークなど地域資源との協働に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 本人及び家族等の希望を大切にし、適切な医療を受け られる支援を行っている。	
			(外部評価) 入居前からのかかりつけ医を継続して受診している利 用者もいる。ホームの協力医療機関とは、緊急時にも 対応できるよう24時間体制で連携を図っている。週1 回の往診もあり、定期健康診断や血液検査も行い、健 康面で安心できる。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 医療連携体制の中で、綿密に訪問看護ステーションの ナースと連携を図れている。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 利用者本人の心身状態に留意し、適切な連携が取れる ようドクター・ナースとの関係作りに努めている。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 現状で、重度化した場合の指針を作成し説明してい る。実際に終末期ケアに突入した時点で、再度確認を 行うようにしている。	
			(外部評価) 利用開始時に重度化や終末期についてのホームの指針 を伝え、家族等と話し合い、本人及び家族の意思を尊 重しながら対応している。ホーム内で研修を行うとと もに、外部の研修会にも参加して職員の理解を深めて いる。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 社内・外の研修を通じて実践力を身につけられるよう努めている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 地域防災が、活発な地域であって地域の中にホームの救助担当者が決まっているなど地域との協力体制は取れている。 (外部評価) 消防署の指導のもと、地域の自主防災組織の協力を得て避難訓練を行っている。自主防災組織にはホーム職員も参加しており、協力関係を築いている。消防署、管理者、法人の四国統括代表者等に通報できるシステムの火災報知機を設置している。災害時対応マニュアルを作成し、備蓄品も備えている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 言葉かけについては、研修や実践の中で日々向上を目指し努力している。 (外部評価) 個人情報の保護については会議等で学習の機会を設けており、職員は理解している。一人ひとりを尊重し、日々の声かけには十分配慮し、人生の先輩として尊敬の念を持ってケアにあたっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 食事の嗜好や、入浴の希望など可能なかぎり、自己決定のできる環境づくり。決定事項実現化へ尽力している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 可能な限りご本人の希望に沿った支援に努めている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 普段の整容は、もちろんだがイベントなどのときは特別なメイクを提供するなど、おしゃれへの取り組みを行なっている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 現状では、家事を共に行う事は困難となりつつあるが食事を楽しめるよう、形を確認した後に刻むなど工夫を行っている。	
			(外部評価) 茶碗、湯のみは各自が専用のもを使用している。利用者の状態等によりとろみ食やきざみ食で対応し、介助の必要な利用者の傍に職員が寄り添ってさりげなく支援している。誕生会には利用者の好みのメニューも取り入れ、時折は外食も楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 水分補給については、こまめに声掛けし、様々な飲み物の中から選択できる環境を作っている。栄養補給については、食事量が少なく不足が予想されるものは、栄養補助食品を用いるなど工夫をしている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアの実施に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) できる限り、自立の継続ができるよう支援している。	
			(外部評価) 排泄の状況等を詳細に記録した排泄チェック表により利用者ごとの排泄パターンを把握し、さりげなく声かけをするなど、個別に支援している。便秘がちな利用者等については医師の指示を得るようにしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 便秘予防の為、朝食に乳製品をとって頂いたり運動や効果的なお茶をすすめる等工夫をしている。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) ご本人の意思を尊重しながら、入浴を行っている。時として職員の都合が優先されることもある。	
			(外部評価) 入浴チェック表を作成し、基本的には週に2～3回は入浴できるよう支援している。羞恥心や恐怖心を与えないよう、タイミングを見計らって気分のほぐれた時に入浴をすすめるなど、入浴を楽しめるよう工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 日々の体調や、お食事後などご本人の生活習慣に留意してお声掛けしている。シーツなどは定期的に洗濯し気持ちよく眠れるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬台帳を作成し、いつでも服薬されている薬の内容が確認できるように取り組んでいる。服薬の支援については、薬局とも綿密に連携をとり形状の変化など細かく対応してる。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 一日に数回、レクリエーションの機会をつくり気分転換が図れる工夫をしている。本人の生活歴や希望に合わせ役割がもてる支援を心掛けている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天候や、健康状態に留意しながら屋外でのレクなど声かけを行っている。	
			(外部評価) 暖かい日は、ホームの庭に出て日光浴をしたり、歌を歌って楽しんでいる。近くの公園等にドライブに出かけることもある。また、年間の外出計画を立てており、お花見、地域の運動会等に出かけたり、利用者の好みに合わせた外食にも出かけるなどしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 数名の利用者様は、お金を持っているが現状ではホーム内でお金を所持して頂いていない。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 自由に行えるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節感を大切にしたり、飾りつけなどに努めている。	
			(外部評価) 居間にはゆったりとくつろげるようソファを置き、室温も適切に調整されており、利用者は思い思いに過ごしている。正月には門松や鏡餅を飾るなど、季節の行事も楽しんでいる。畳の間があるが、整理整頓が十分でないため現在は自由に利用できる状態とは言えない。	利用者がゆったりとくつろいだり、レクリエーションに活用したりできるよう、畳の間の活用の工夫について検討することを期待したい。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 共用空間内に数カ所、椅子やソファがあり自由に自身の意思で過ごせる環境を提供している。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 可能な限り、ご本人の使い慣れたものなどを持参いただき心地よく過ごせるよう工夫している。	
			(外部評価) 居室には思い思いにタンスやテレビなどを備えたり、思い出の写真やカレンダーを貼っている。仏壇を持ち込んでいる利用者もいる。クローゼットが備え付けてあるため、収納や整理整頓に便利で、居室を広々と利用できる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 手すりや、椅子、トイレなど自立した生活がおくれる環境づくりに考慮し、安全に使用いただいている。	

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870105735
法人名	株式会社 ツクイ
事業所名	ツクイ 松山南江戸 サンフラワー
所在地	愛媛県松山市南江戸2丁目1番29号
自己評価作成日	平成22年1月5日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 [※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載](#)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成 22 年 1 月 12 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

イベントを通して、ご入居者・ご家族のかかわり、笑顔の支援をすること。
地域の防災活動など、地域行事への積極的な参加。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

公民館長と親交を図り、利用者は地域の敬老会、文化祭、運動会等に参加して楽しんでいる。暖かい日はホームの庭で日光浴をしたり、歌を歌ったり、近くの公園等にドライブに出かけている。職員は、利用者に常に笑顔で接し、会話を通して思いや意向を聞き取っている。家族が来訪する機会を確保するため、継続的にイベントを開催している。年に1度は家族に「満足度調査」を行い、自由に意見を述べてもらい、ケアに反映させている。24時間体制で連携できる協力医療機関から、週に1回往診があり、また定期健康診断や血液検査も受けており、健康面で安心できる。終末期については利用開始時に家族等と話し合っ指針を共有し、職員研修を継続して行っている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 ツクイ 松山南江戸サンフラワー

(ユニット名) 椿

記入者(管理者)
氏名 村上 岳史

評価完了日 平成22年1月5日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) 椿ユニットの理念・・・明るく、楽しくを共有し、実践につなげていると思われる。</p> <p>(外部評価) 開設時に全職員で話し合い、ユニット毎に「笑顔で声かけ」、「明るく楽しく」を作成し、各ユニットに掲げて共有し、実践につなげている。さらに現状に合わせた理念について話し合っていきたいとの意向を持っている。</p>	地域密着型サービスの意義や役割を明示した理念を作成し、全職員が共有しながら、さらにケアの実践に活かして行くことが大切であり、また理念を地域への啓発にも役立てていくことを期待したい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p>(自己評価) 南江戸地域の住民の皆様の協力を得、防災訓練など、参加させていただいている。2月、11月の2回</p> <p>(外部評価) 自治会に加入している。また、公民館長と親交を図り、敬老会や文化祭等に参加している。中学生の職場体験を受け入れたり、高校生が花を届けてくれている。職員は地域のクリーン活動日を設け、お揃いのジャンパーを着用して、毎週近隣の清掃活動を行っている。地域住民に認知症予防に関する講話も行っている。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) 地域の人々に向けての取り組みは、出来てないと思う。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価) 21年度は2ヶ月毎の開催ができなかった。1月・5 月・7月・11月の4回	会議には利用者家族の出席もお願いし、家族の意見等 をサービスに反映させる取り組みが望まれる。また、 出席者からの忌憚ない意見を聞き取れるよう、さらなる 運営の工夫にも期待したい。議事録には発言者の立 場を明記するなど、より判読しやすい記録の方法につ いて検討を望みたい。
			(外部評価) 会議の意義を十分理解した会議メンバーの参加を得ら れており、約2か月に1回程度開催している。利用者 の生活の様子やホームの状況を報告しているが、利用 者家族の出席がなく、また出席者からの発言もやや少 ない傾向にある。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(自己評価) 積極的に取り組んではない。	生活保護を受給している利用者があるため、市の生活 保護担当者と連絡を常に取り合い、月1回は収支報告 書等を届けるために市窓口に出向いて情報交換してい る。
			(外部評価) 取り組んでいるが、全ての職員が正しく理解してい るかの徹底が出来ていない。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 取り組んでいるが、全ての職員が正しく理解してい るかの徹底が出来ていない。	身体拘束禁止に関する法令について、月1回の会議で 学習している。職員は、人権を大切にしながら自由で のびやかな暮らしが送れるよう努めている。防犯のため 1階入口はやむを得ず電気ロックで対応し、利用者 の安全確保に努めている。
			(外部評価)	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 施設で身体的虐待は行われていないが、接遇（言葉）では、馴れ合いになり、あるかと思われる。研修中。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 理解出来ているとは、思われず。今後の課題。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 十分な説明を行っているかと、思うが本人が理解、納得されているかは、疑問？	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族様の意見、要望は出来る限りお聞きして改善中。	
			(外部評価) ホーム内及び外部の相談窓口を重要事項説明書に明記し、利用開始時に本人及び家族に説明している。家族が訪問した際には要望を聞き取っている。年1回は家族に「満足度調査」を行い、自由に意見を述べてもらっている。また家族会を設けており、会での意見も反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月のカンファレンスにおいて実施、取り組んでいる。	
			(外部評価) 管理者は月に1回程度は各職員と面談し、意見等を聞き取っている。また全体会議において、チェックシートを活用して現在困っていること等の調査を行っている。職員の意見等については、管理者がインターネット経由で法人代表者に伝え、コメントを得ている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 改善する点はあるが、検討中。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修を受けるように、努めていきつつある。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 出来る限り交流の機会をつくってはいるが、サービスの質の向上までにはいたらず、今後の課題。	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 本人様との信頼関係は築けていると、思われる。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 一部の家族様との関係改善中。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 必要としている支援を見極めてはいるが、他のサービス利用も含めての対応には、全て行われているかは、疑問。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 築けていると、思われる。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 築けていると、思われる。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 馴染みの人との関係は支援できている。場所との関係には支援できていない。	
			(外部評価) 家族に極力来訪してもらえるように、イベント開催を継続している。馴染みの美容室に家族と出かける利用者もいる。中学校のグラウンドや近くの公園が馴染みの場所となり、機会あるごとに出かけている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 勤めている、と思われる。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 終了者様は居らない。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人様本位というよりも、家族本位が強いと、思われる。	
			(外部評価) 職員は、利用者に常に笑顔で接しながら声をかけ、意向や思いを聞き取っている。会話が困難な場合でも、ゆったりと接しながら表情や動作等から思いを把握するよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 家族様や本人様との関わりのなかで、把握に努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<p>(自己評価) 介護計画は後回しにしても、話し合い現状に即した対応に努めている。</p> <p>(外部評価) 利用者ごとの担当者がアセスメントを基に生活の様子を会議で発表して全職員で話し合い、計画作成担当者が作成している。基本的には3か月毎に見直しを行い、家族にも説明して承認を得ている。</p>	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<p>(自己評価) 活かしている場合とない場合とがある。ケースバイケース、。</p>	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<p>(自己評価) 取り組んでいるケース、取り組んでいないケースがあると、思われる。</p>	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<p>(自己評価) 地域との協働は行われていると、思われる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	<p>(自己評価) 適切な受診支援が行われている、と思われる。</p> <p>(外部評価) 入居前からのかかりつけ医を継続して受診している利用 者もいる。ホームの協力医療機関とは、緊急時にも 対応できるよう24時間体制で連携を図っている。週1 回の往診もあり、定期健康診断や血液検査も行い、健 康面で安心できる。</p>	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	<p>(自己評価) 看護師との協働支援は行われていると、思われる。</p>	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>(自己評価) 医療機関との協働は行われている、思われる。</p>	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	<p>(自己評価) 早い段階からではないが、家族様、医療関係者との、 共有支援が9名の方全員とはできていない。</p> <p>(外部評価) 利用開始時に重度化や終末期についてのホームの指針 を伝え、家族等と話し合い、本人及び家族の意思を尊 重しながら対応している。ホーム内で研修を行うとと もに、外部の研修会にも参加して職員の理解を深めて いる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 急変や事故発生時に備えての訓練を、定期的には行っていない。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 地域との協力体制は築けている。 (外部評価) 消防署の指導のもと、地域の自主防災組織の協力を得て避難訓練を行っている。自主防災組織にはホーム職員も参加しており、協力関係を築いている。消防署、管理者、法人の四国統括代表者等に通報できるシステムの火災報知機を設置している。災害時対応マニュアルを作成し、備蓄品も備えている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 言葉かけや対応はできている、思われる。 (外部評価) 個人情報の保護については会議等で学習の機会を設けており、職員は理解している。一人ひとりを尊重し、日々の声かけには十分配慮し、人生の先輩として尊敬の念を持ってケアにあたっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 本人の希望に添うようにはしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 希望に添える場合と添えない場合がある。出来る限り添えるようには支援する。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 支援している。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一緒に準備、食事、片付けをできる方がいない。 (外部評価) 茶碗、湯のみは各自が専用のものを使用している。利用者の状態等によりとろみ食やきざみ食で対応し、介助の必要な利用者の傍に職員が寄り添ってさりげなく支援している。誕生会には利用者の好みのメニューも取り入れ、時折は外食も楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 摂取量、水分量確保の支援は行えていると、思われる。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後の口腔ケアはおこなえている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 日中は紙パンツでトイレ利用 オムツは夜間での支援を行っている。	
			(外部評価) 排泄の状況等を詳細に記録した排泄チェック表により利用者ごとの排泄パターンを把握し、さりげなく声かけをするなど、個別に支援している。便秘がちな利用者等については医師の指示を得るようにしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 便秘の原因や及ぼす影響を理解しているとは、言いがたい。便秘を起こさない取り組みは出来ている。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 希望より、その方の体調により、入浴支援をしている。	
			(外部評価) 入浴チェック表を作成し、基本的には週に2～3回は入浴できるよう支援している。羞恥心や恐怖心を与えないよう、タイミングを見計らって気分のほぐれた時に入浴をすすめるなど、入浴を楽しめるよう工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 安眠や休息の支援は行えている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 9名全員の目的、副作用が理解できるとは、言い難い。が服薬の支援と症状の変化の確認は努めていると思う。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 役割が行える方には、ケアプランにあげる。嗜好品の把握、楽しみごと、気分転換の支援は行えている時、行えない時がある。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) その日の希望には、添えないことがある。天候、状況による。	
			(外部評価) 暖かい日は、ホームの庭に出て日光浴をしたり、歌を歌って楽しんでいる。近くの公園等にドライブに出かけることもある。また、年間の外出計画を立てており、お花見、地域の運動会等に出かけたり、利用者の好みに合わせた外食にも出かけるなどしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人がお金を持つことの大切さは理解できるが、本人が管理不能での所持によるトラブル防止のため、原則禁止をおこなっている。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) 季節毎の展示物などによる、工夫をおこなう。</p> <p>(外部評価) 居間にはゆったりとくつろげるようソファを置き、室温も適切に調整されており、利用者は思い思いに過ごしている。正月には門松や鏡餅を飾るなど、季節の行事も楽しんでいる。畳の間があるが、整理整頓が十分でないため現在は自由に利用できる状態とは言えない。</p>	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価) 工夫をしている。</p>	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのあるものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) 居心地よく過ごせる様な工夫をしている。</p> <p>(外部評価) 居室には思い思いにタンスやテレビなどを備えたり、思い出の写真やカレンダーを貼っている。仏壇を持ち込んでいる利用者もいる。クローゼットが備え付けてあるため、収納や整理整頓に便利で、居室を広々と利用できる。</p>	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価) 安全な環境には配慮ができていると、思う。</p>	